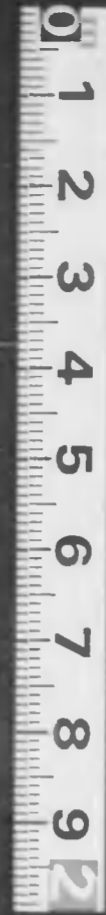


寫眞週報

編輯局報情
ンセ十・號五卅百二第・日六廿月八



札立の時

異境の地つぎつぎに領め平け
 宮祿太しき立て 千木高知らす
 天つ社國つ社
 こゝに皇神あますと
 新らしき民等も齊しく額を垂る
 その胸に深く深く通ふもの
 神無雜 ひとすぢの日本精神
 大らかに大らかに
 隆國のこゝろこゝろに流しと出づ

昭南神社の御造営に寄す

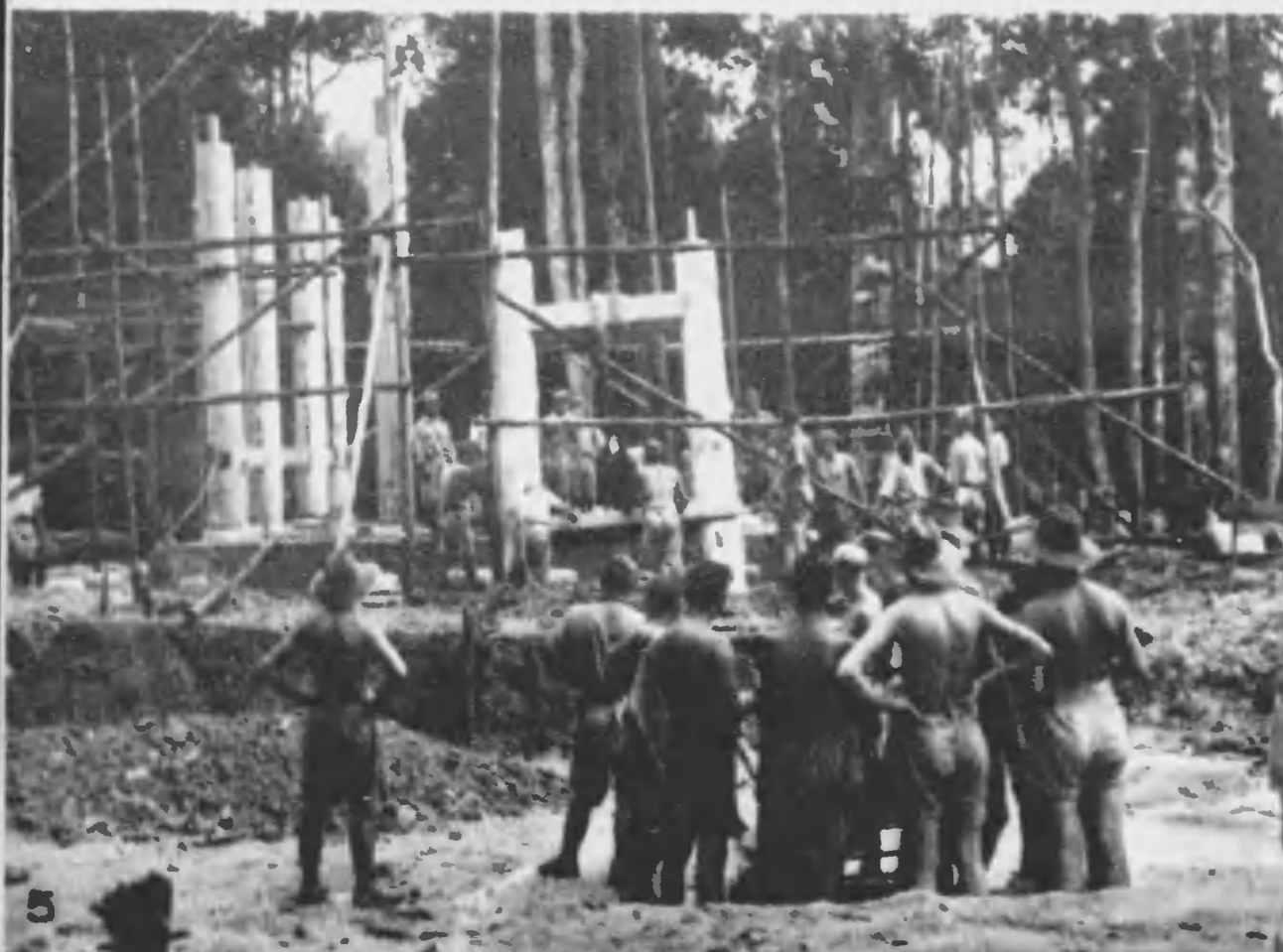
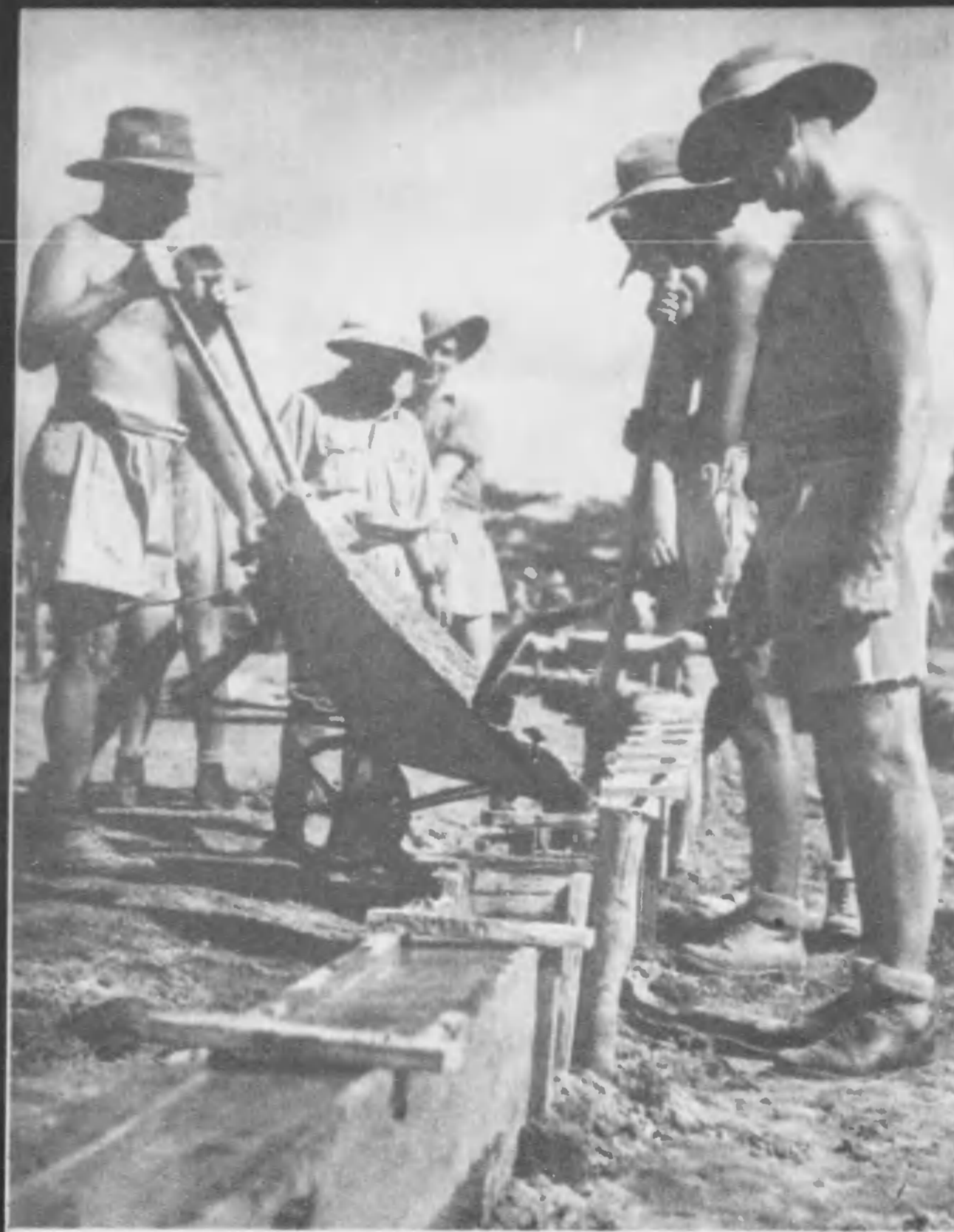


昭南市の目撃ましい
復讐を感得する
野村 來橋南大使

足どりもいこゝと領土昭南港に上陸する
歸國邦人とタイ國の留學生一行(前から二人
日及び三人はビアン首領の令息と令息)

洲米
船換交のらかに
昭南島
着安

野村、來橋、石射三大使はじめ遠く北、中、南米、カナダに使ひしたわが外交官及び一般引揚げ邦人ら一千四百四十八名をのせた日米交換第一船渡開丸及びコンナ・ヴェルデ號は、海路無事さる九日昭南港に到着、現地軍官民多数の出迎へをうけた野村大使以下は、約半年に亘る監禁生活と長途の航海にもめげず、元氣一杯、新帝國領土昭南島に感激溢れる歸還の第一歩を印した



昭南神社の御奉仕 略南神社の御造営

シンガポールが昭南市に昇格してから、はや半世紀がたつた。イギリスが約百年間アジア侵略の拠点として設置したの經營にあつてきたシンガポールも、新らしく大東亞共榮圏建設の進軍基地として目覚ましい復興發展ぶりを見せ、僅か半年の間に完全なアジア色をとりもどしつつある。

その一つ昭南神社の御造営。昭南神社はかつて在留邦人の守護神として四年前に建立されたものであるが、この度シンガポールのアジア復興を期として大々的に造営されることになつたものである。昭南市北約二方呎の神域は、現地軍の奉

造営の準備も漸々進んで、神前に南方國獨立の決意を告げる國旗が掲げと準備する日の盛況が今から傳はれる。

兵隊さんにくまなく指導されて、女生の軌込みに不勝用な手を動かしてゐる。

仕作りに伴つての勞務を合せて若々整備を急ぎ、南方の聖地として見事な壯麗さをそなへつゝある。こゝに示すものは御造営にあたる英兵隊の作業である。

二日、三日と次第に新しい外役にも馴れて、竹のコンクリート打ちもいかについで来た。

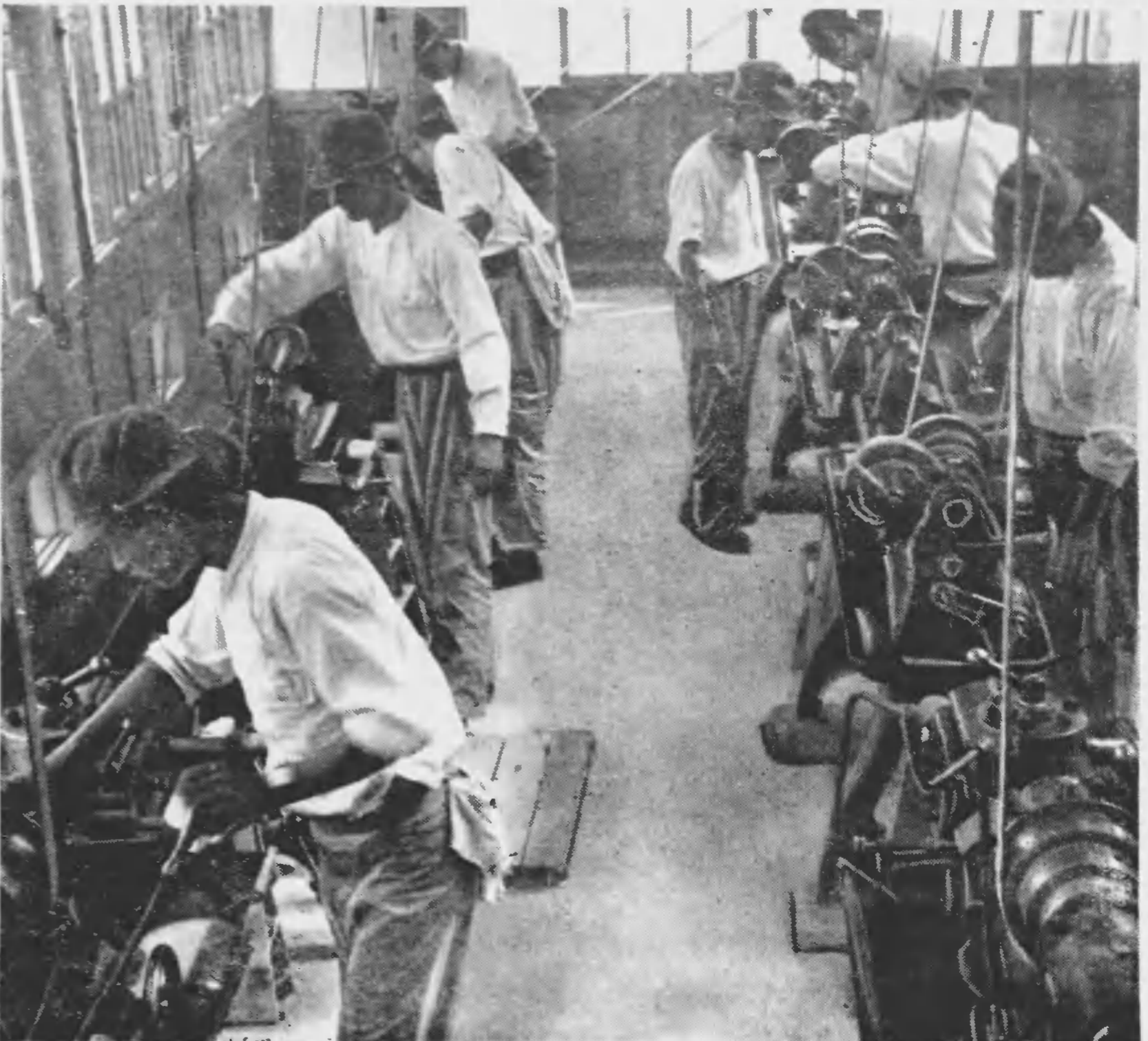
専門家の兵隊さんが官軍の進めを指導し、神域の整備に大奮

働きのなき療養がなきき

— 所業作梨山園財公奉人軍疾傷 —



→ 傷病兵の訓練に心をこめて、我々の部隊員も訓練を受ける。この日は、



← お腹につけたしるしは、中か、風の空のいくさ、いくと聞いても、勇ましいお手紙をして、浪浪ナ

働きのなき療養がなきき、ひとが百やるところならば自分も百や
つてのけたい——それが意地でもあり、人情でもまたある
だ。かうした無理が、禍のもとになつてとしかへしのか
ない結果になるならば、折角再起を誓つて立ち上つた勇士
たちのために惜しみても餘りありといふべく、またそれは
この大戦にあつて、生産力補充に拍車をかけてる國家
にとつても大きな損失であるといはなければならぬ
だが、さういふことについて、戦場を恐れるの餘り、たゞ
と徒食徒食の日を送るといふことは、生活の問題は別とし
ても第一に勇士たちの氣持がそれを許さぬ
そこで軍事保健院では、これら胸病疾患の勇士たちに、
且つ検査し且つ働かといふ適當な保護施設を興へ、再起奉
公をはからせたいといふ親心から、環境のよい健康的な
農村を選んで、従業員十五名程度を收容する小工場を全國
に約二十ヶ所設けることとなり、その先發を承つたものが

石印丁つ兵隊工場、軍用機材工場、山梨山梨製作所である
この工場は、清浄に保つて、常に富士を仰ぐ、田園の
なかに建てられ、通風、採光なども十分に意を用ひた理想
的のもので、いまこゝには陸軍病院あるは、各等兵舎を建設し
、勇士の勇士十名が、軍用機材の修繕を得て、軍用機の製造に當
つて、その作業時間は一、二の工場に、一、二の工場に、一、二の
作業時間を多くつてあるは、毎日定期的に、職匠による
検査、マシンの点検など、厳格に行はれるといふやうに、勇
士たちの健康には、不斷の注意が注がれてゐる。なほ、仕事が變
つた、段階に分れ、各人がその一つづつを、分擔して一つの段階
毎に、進めるには、ゆるやかな、進め方の方式を採つてゐることも、
傷病の勇士ばかりを集めたこの兵隊工場の一つの工夫、研究と
して、行はれてゐるのだ



かくて兵隊工場は進發した。傷つてなほ不屈の戦
場魂を火と機、勇士たちは、銃後の生産陣にいま敢然と
再臨しつゝあるのだ



釣れた、大きな奴が、休憩時間のひととき、
を身も心もどくどくと、釣りに興するのだ



大學生のお医者さん 山村僻地を往診

埼玉縣後父



「お医者さん、おつと息を吸って」
「おつと先生によい子伏」
「東の山は崎嶇な山道を二里も一里も」
十日間の本住は終つた。様々な山村の村民の感謝を集め、山を下る。

「これは去る八月四日から十日間、埼玉縣後父郡大蔵村橋本、落合の二部落を巡訪した東京帝大「醫學徒報國隊」の愛の診察報告である。長松村龍雄氏外三氏を指導教官とする学生十名で、千数百人の村民を診察、投薬、保健指導等に當つたが、今秋十月には再度教官が村を訪ひ、結果報告と共に具體的指導を行はばすである。

撮影 埼玉縣 清水武甲

「これは去る八月四日から十日間、埼玉縣後父郡大蔵村橋本、落合の二部落を巡訪した東京帝大「醫學徒報國隊」の愛の診察報告である。長松村龍雄氏外三氏を指導教官とする学生十名で、千数百人の村民を診察、投薬、保健指導等に當つたが、今秋十月には再度教官が村を訪ひ、結果報告と共に具體的指導を行はばすである。

このうち診察器具と兵隊とする全国の醫學徒は、病魔撃退は便ならなくてはと自信満々、七月下旬以來約二ヶ月間に全國二十數校の醫學徒が各府縣の指定無病村に出撃、村民の診察、保健衛生の指導、醫療狀況の調査等に精々の戦果を挙げてゐる。

「これは去る八月四日から十日間、埼玉縣後父郡大蔵村橋本、落合の二部落を巡訪した東京帝大「醫學徒報國隊」の愛の診察報告である。長松村龍雄氏外三氏を指導教官とする学生十名で、千数百人の村民を診察、投薬、保健指導等に當つたが、今秋十月には再度教官が村を訪ひ、結果報告と共に具體的指導を行はばすである。



示せ貯蓄の底力

大東亞 戰時 國債

郵便局出售 八月二十一日 九月一日

貯蓄國債券 報國債券

行銀業勸本日・行銀本日・省信通・省藏

内閣印刷局印刷發行